

☆特別支援教育について

文部科学省は、2013年に通常学級で「学習面」や「行動面」で困難さをもつ児童生徒の全国調査を行いました。その調査で、通常級に通うお子さんの中にも、約6.5%の割合で下記のような状態像が見られることがわかりました。

今学校では、支援を必要とするお子さんのニーズを確かめ、ご家庭と協力しながら特別支援教育を行っています。

○様々な困難さ

◎学習面

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなど、努力するわりには理解できない。



◎行動面

- ・不注意→忘れ物が多い、整理整頓が苦手、順序立てて行うことが苦手、物をよなくするなど
- ・多動性→落ち着きがない、体の一部分がいつも動く
- ・衝動性→順番が待てない、過度にしゃべる、質問が終わらないうちに答える、他人がしていることをさえぎったり、じゃましたりするなど
- ・対人関係→なんでも言葉通りにうけとめてしまう、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない、友だち関係をうまく築けない、友だちのそばにいるが、一人で遊んでいるなど
- ・こだわり→自分だけの知識世界をもっている、強くこだわることによって日常生活に支障が出る、独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる、特定の物に執着するなど

○抱えこまずに相談を

- ・一人ひとりの発達のみちのりは多様です。目標までたどり着く速さにも個人差があります。学校では、どうしてつまづいているのかを明らかにして、どのようにしたらつまづかないですむのか、具体的に方策を保護者の方と一緒に考え、子どもが自信をもって学習や生活ができるよう対応していきます。
- ・西の里小学校の「子ども支援は」すべての子どもを支援対象にしています。「漢字が覚えられない」「友だちとトラブルが多い」「何回言っても伝わらない」「家庭でどのように対応したらいいのか」など、これはちょっと気になる心配だなと感じたら、担任または子ども支援担当者（コーディネーター）に一声かけて下さい。
- ・学校だけでは解決が難しいことは、保護者の方や担任と相談しながら他機関と連携するように努めています。子どもを取り巻く環境も複雑になり、抱えている課題も多岐にわたっていることから、専門家ともつながりながら適切な支援を行っていきます。